

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)		廃棄物政策課 電話042-769-8336 (直通)		
開催日時		令和4年11月21日(月) 14時00分～15時30分		
開催場所		第2別館3階 第3委員会室		
出席者	委員	14人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	17人(脱炭素社会・資源循環推進担当部長、廃棄物政策課長 他15人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		1 開会 2 議題 (1) 諮問 (2) 相模原市一般廃棄物処理基本計画について 3 その他 4 閉会		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

1 開会

定足数の確認の上、開会した。

2 議題

竹田会長の進行により議事が進められた。

(1) 諮問について、事務局から説明を行った後、宮崎脱炭素社会・資源循環推進担当部長から竹田会長に諮問書を手交。

(2) 相模原市一般廃棄物処理基本計画の現在の状況について、事務局から説明を行った。

【質疑事項】

(藤倉委員) 令和2年度の市民1人1日当たりの家庭ごみの排出量が増えているのは、新型コロナウイルス感染症拡大により家にいる期間が長く、家を整理して粗大ごみを捨てる人が多くなったと他自治体でも聞いているが、粗大ごみと収集ごみの割合がどのように変化しているのか。また、令和3年度に排出量が下がったことについて、どのような種類が大きく下がったのかを分析していただきたい。

加えて、家庭系の食品ロスと事業系の食品ロスの割合が平成29年と比べてどのように変化しているか分析をお願いしたい。

また、5年前と比べてプラスチックに対する取組みが世の中で大きく変わり、プラスチック資源循環法が施行された。今後議論していく上で、相模原市の家庭系ごみと事業系ごみのごみ組成について、プラスチックに関する情報を提供いただきたい。

(事務局) いただいた意見についてよく分析し、今後情報提供させていただきたい。

(中島委員) ごみ総排出量のグラフと最終処分量のグラフだけを見ると、全体的に減っている印象があるが、もう少し内容を分析していただきたい。特に、ごみ総排出量については、一般ごみ、粗大ごみ、事業系ごみ、資

源の4つの分類が合算されたグラフになっているため、それぞれの量がどのように変化しているのかを提供いただきたい。

(事務局) それぞれの量がわかる形で今後提供させていただきたい。

(篠原委員) 基本計画の年度表示がHのままになっているがどうなっているのか。

(事務局) 平成31年3月に計画を策定しており、平成での表記となっている。

(原委員) サブ指標2の食品ロスの排出量について、算出式が一般ごみ×食ロス発生割合となっているが、どのようにして食品ロスということがわかるのか。

(事務局) ごみ質測定調査をした中で、食品の廃棄物がどの程度含まれているか割合を算出し、ごみの総量×食品廃棄物の割合で算出した推計値となっている。

(下島委員) 家庭系ごみと事業系ごみの組成の円グラフについて、家庭系ごみの円グラフには食品ロスの割合が明示されているが、事業系ごみの円グラフには明示されていない。サブ指標2の食品ロスについては、家庭系ごみと事業系ごみが合算された数値なのか。

(事務局) 家庭系ごみの数値であり、この排出量の推計は、家庭ごみの組成分析の結果を基に算出している。

(下島委員) 事業系ごみの食品ロスの割合は分析されていないのか。

(事務局) 現状の組成調査の中で表現できる数値があるかを含め、検討させていただきたい。

(幸山委員) サブ指標1のダム集水区域の公共下水道整備率について、中間目標値からかなり進捗が遅れているが理由は何か。

(事務局) ダム集水区域の下水道整備率については、津久井、相模湖、藤野の3町の公共下水道処理人口を、住民基本台帳人口から高度処理型合併浄化槽計画人口、農業集落排水処理計画人口を引いて算出している。下水道整備区域に現在お住まいの方が合併処理浄化槽を使用し続けていることにより、公共下水道に接続している人口が少ないことが理由となっている。

(幸山委員) 接続にあたっては費用等の課題もあると思うが、そのような助成も含めて検討いただければ整備率も上がってくると思うので、目標達成に向けて努力をお願いしたい。

(竹田会長) 令和元年に前年度と比べて整備率が下がっている理由は何か。

(事務局) 人口の変化や生活実態を踏まえ高度処理型合併浄化槽を整備する対象戸数を見直したことにより、算出式の分母の人口が増加したため下がっている。

(篠原委員) 令和元年から令和3年にかけて目標値より実績値が下がっているが、目標値の修正は行わないのか。

(事務局) 検討させていただきたい。

(渡部委員) 算出式に公共下水道処理人口と表記されているが、例えば世帯数で算出すると、下がっている実績値が別の見え方になるのか。

(事務局) 世帯数で算出はしていないが、概ね同じような数値になると思われる。

(藤倉委員) 合併処理浄化槽を使っている人は汚水処理はされているので、整備率に含めて良いのではないか。下水道整備区域は全て下水道に接続しなければならぬのか。

(事務局) 公共下水道を整備しても公共汚水ますを設置しない家庭は、受益者分担金が賦課されず、公共下水道の処理が開始されないため、浄化槽を使い続けることができてしまう。しかし、市としても家の前に公共下水道を整備している趣旨を市民の皆様に理解していただき、接続率を上げていきたいと考えている。詳細については、次回改めて説明させていただきたい。

(幸山委員) 計画の見直しにあたり、最終処分量や食品ロスの排出量等、目標値とかなり乖離があるものについては、専門家の意見も踏まえて数値を見直した方が良いのではないか。

(事務局) 令和2年度、3年度の数値が一時的なものなのか、継続的なものなのかを見極めながら、必要に応じて数値目標についても見直しをして参りたい。

(原委員) ごみが減っていくということは、経済的な活動が悪くなっているという面にも捉えられると思うので、政策的にごみを減らしたとか、市民の協力で減ったというものでないと、かなり難しい推測だと思われる。

(渡部委員) 計画の目標達成に向けた施策について、様々な課題に対して施策が挙げられており、その結果として資料1のグラフができていると思うが、個別の施策に対する有効性の評価はされているのか。

(事務局) 庁内で計画改定に向けた検討会を設け、現在の施策・事業について進捗状況を見て、評価を行う作業を進めている。

(中島委員) 今後の審議会の議論の方法はどのようになるのか。

(事務局) 本日諮問をさせていただき、来年の8月、9月を目処に答申をいただきたいと考えている。庁内での検討会の意見も踏まえ、審議会に提案しながら答申案をまとめていただくことを予定しており、審議会については、5回程度の開催を予定している。

(竹田会長) 計画の中の目標数値等の改定版ができるという認識で良いか。

(事務局) 今回はあくまでも改定になるので、根本的に策定し直すということではない。現状の施策や事業を評価し、プラスチック資源循環法等の様々な状況も変わってきていることから、それらを踏まえて必要な部分の改定を行っていき、必要に応じて数値目標も変えていく形になると考えている。

3 その他

中島委員より、相模原市自治会連合会の政策要望について説明があった。
事務局から今後のスケジュール等について説明した。

4 閉会

相模原市廃棄物減量等推進審議会委員出欠席名簿

(五十音順・敬称略)

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	安藤 正義	相模原市老人クラブ連合会		出席
2	石川 冬子	さがみはら消費者の会		出席
3	大河内 由美子	麻布大学		欠席
4	近江 良一	相模原商工会議所		出席
5	落合 幸男	相模原市農業協同組合		出席
6	加賀谷 育子	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら		出席
7	幸山 隆	相模原地域連合		出席
8	篠原 直彦	公募		出席
9	下島 優香子	相模女子大学		出席
10	須藤 みね子	さがみはらリサイクル連絡会		出席
11	竹田 幹夫	相模原市自治会連合会	会 長	出席
12	中島 勝平	相模原市廃棄物減量等代表推進員		出席
13	原 正弘	神奈川県県央地区廃棄物処理業協議会		出席
14	藤倉 まなみ	桜美林大学	職務代理者	出席
15	堀川 伸晴	相模原市子ども会育成連絡協議会		欠席
16	山口 正樹	神奈川県立学校長会議 相模原地区会議		欠席
17	山崎 勇貴	津久井地域不法投棄防止協議会		欠席
18	渡部 一浩	相模原廃棄物対策協議会		出席